

子グマ誕生！！

飼育員は見たべあ！

のぼりべつ
クマ牧場通信
95号

2025年
5月1日

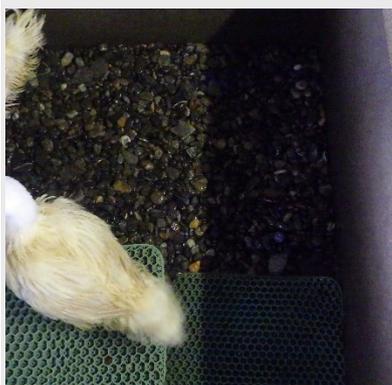
発行

のぼりべつ
クマ牧場
動物課



初めての環境に緊張気味の子グマ達＝4月23日

今年の冬も産室から子グマ達の元気な鳴き声が聞こえてきました！
ラッキーから2頭、スミリから1頭、ベッキーから2頭、合計5頭の子グマが誕生しました。3頭の母グマは、赤ちゃんを自分のお腹の下に入れて抱きかかえながら温め、母乳を与えている様子が確認されており、立派に子育てを頑張っています。成長が進むと、母グマから離れてよちよち歩きをする子グマと、それを連れ戻そうとする母グマの微笑ましい姿も見られました。5頭の子グマは4月26日から子グマ牧場で一般公開をしています。また、5月6日までのGW期間中には名前も募集します。もしかすると、あなたの考えてくれた名前が採用されるかも…？沢山のご応募、お待ちしております！
そして、今年も「子グマと記念撮影」イベントを開催しています。期間は4月26日～5月6日のGW期間と、以降の土日祝日です。時間は11時45分と14時30分の1日2回、先着20組(GW期間中は先着30組)様限定で開催します。子グマと近距離で写真を撮ることができ、この時期だけのイベントです！是非ご参加ください。(参加料：1組1000円)
※子グマの体調を考慮し、中止、または組数を減らして開催となる場合がございます。



砂利を設置した獣舎内の様子

＝4月21日

4月の休園中に、アヒルたちの飼育場の整備を行いました！でこぼこだった地面をならし、野鳥の侵入を防ぐために防鳥ネットを張り替えるなど、細かい整備や点検を行いました。また、アヒルたちの足裏にできるしりゅう症(魚の目のようなもの)は以前から問題となっており、クッション材を敷くなどの対応をしていましたが、確実に防ぐことは難しい状態でした。しりゅう症の原因はさまざまですが、足にかかる体重の負担が一因とされています。そこで今回は、獣舎内に砂利を敷き詰めることにより、体重が分散されやすい環境を作りました。この取り組みにより、アヒルたちの健康維持が期待でき、訪れただけのお客様にも、より元気なアヒルたちの姿をお見せできるのではないかと考えています。
これからも環境改善に向けて取り組みたいと思います！





休園中のお仕事

4月7日から25日まで、ロープウェイの法定検査及び施設点検のため休園していました。休園中は、動物たちの獣舎清掃や餌やりなどのお世話に加え、休園中ならではの様々な作業を行いました。

まず、お客様がより快適にご観覧いただけるように、園内通路の整備や、休憩スペースの設置、観覧台通路にある手すりの錆落としから塗装などを行いました。



柵のペンキ塗りの様子=4月24日

今月の一コマ

見るだけで
心が和む
子グマさん



また、先月新たにクマ牧場へとやって来たエゾリス「エゾマル」の展示場放飼練習や、展示場内の清掃作業、小さな傷が目立っていた『ヒトのオリ』のガラス交換や、園内通路アスファルト舗装も行いました。さらに、今年生まれた子グマのお披露目に向け、子グマ牧場へのお引越しも行いました。

休園明けの4月26日からはお客様にもっと楽しんでいただけるよう、さまざまイベントを開催中です。園内も様々改修しましたので、リピーターのお客様には休園前との違いを感じて頂けるのではないのでしょうか。



展示場内でクリを食べる
エゾマル=4月19日



教えて!!

Q ○ペンネームのんちゃん様
クマの爪はどうやって切っているの？

A クマ達は普段の行動の中で自然と爪がすり減っていくので、本来であれば爪切りは必要ありません。しかし、高齢になると運動量が減って爪が伸びやすくなるため、爪切りをする場合があります。また、クマの爪切りに専用の道具があるわけではありません。そこで、ボルトクリッパーやニッパーなど、通常は金属を切る道具を使用します。どうやって切るのかというと、餌を使いながらクマを誘導し、格子の隙間から前足を出した瞬間を見計らって…パチン！と切ります。



ボルトクリッパーを用いた爪切りの様子

きんのくまさん



ノリピー ♀ (36)

今年で36歳になった、おばあちゃんクマです。現在はバックヤードでのんびりと生活しています。

ノリピーは、足が短く前かがみで歩くため、常に上目遣いで飼育員を見つめてきます。もしかするとそれは意図的で、あざとさを狙っているのかもしれないですが、そんな所もかわいなおばあちゃんです。

毎朝ノリピーの部屋の前で声をかけると、こちらへ挨拶に来るかのようになり近寄ってきます。エサを食べた後にはぐっすりとお昼寝をして老後の生活をまったり過ごしています。元気の秘訣は、よく食べてよく寝ることです！高齢のおばあちゃんですがこれからも元気に過ごしてね！



「勝手に腕枕」

撮影者 飼育員O